

令和元年度事業計画

I. 基本方針

1. お客様の信頼をより強固にするため、「安全は輸送業務の最大の使命である」を基本に、「安全の維持・確保」を図ります。
2. 北陸新幹線開業により増加している国内外からの新たなお客様にアピールできるよう「高質な運行サービスの提供」及び「更なるイメージアップ」を図ります。
3. 2020年3月の南北相互乗り入れを目指して富山市及び富山地方鉄道株式会社と連携を強化するとともに、富山地方鉄道との会社合併に向けて関係者と検討・協議を推し進めます。
4. 当社車両ポートラムの市内軌道乗り入れに備えて、当社と富山地方鉄道(株)との運転士の人事交流により路線の習熟に努めます。
5. 永続的かつ健全な経営のため「収益力の強化」を図るとともに、経営の合理化や効率化を一層推進し、国等の補助制度を積極的に活用するなど、より強固な経営基盤の確立を図ります。
6. 地域に密着した公共交通機関、日常の足としてこれまで以上に親しまれるよう、また、当社車両ポートラムの中心商店街等への直通乗り入れをPRするとともに各種の取り組みを継続し魅力ある鉄道を目指します。

II. 主な具体的施策

1. 安全の維持確保

(1) 鉄軌道施設の整備

①踏切保安設備の整備

老朽化した踏切遮断機等の更新を実施し、確実な動作を確保することで踏切事故を防止し、列車の安全・安定運行の確保を図ります。令和元年度は、粟島駅横の市田開踏切、東岩瀬駅の御蔵町踏切にて施設の更新を行います。



市田開踏切



御蔵町踏切

②車両定期検査の実施

法令に基づき、602・606号車（橙色・青色）について8年毎の車両の全般検査を実施いたします。車体と台車を切り離し、モーターやブレーキ、車輪及びパンタグラフなどを取り外して分解・整備いたします。



パンタグラフの分解・整備状況



台車の整備作業状況

③損傷したレールの交換

レールの疲労による損傷が見られる箇所があり、放置すると亀裂が入り重大な事故につながる恐れがあることからレール交換を実施いたします。平成31年度は大広田駅から東岩瀬駅間などの計4箇所、延長で225mを交換いたします。



疲労が見られるレール

④下奥井駅上り線への閉そく信号機の整備

南北接続後は利便性の向上により需要増加が予想されことから、南北接続開業に併せて通勤・通学の時間帯に城川原駅発富山駅方面の直通電車を増便する目的で下奥井駅上り線に閉そく信号機を整備いたします。



下奥井駅上り線へ閉そく信号設置予定箇所



通勤・通学の城川原駅（富山駅北行）

(2) 安全体制の確立

①安全管理規程の徹底

輸送の安全に関する体制強化に向け「安全管理会議」を定期的を開催するとともに、運転士との意見交換会や研修会を随時開催し、全社員の安全規律の徹底と意識の高揚に努めます。

②事故防止施策の推進

事故防止の観点から、踏切保安装置や信号連動装置など安全に係る設備の設置・改良や既存設備の総点検、踏切事故防止キャンペーンを実施し、事故の未然防止を図ります。

③事故・災害対策の確立

事故や災害発生時の緊急体制が円滑に機能するようマニュアル類を再点検すると同時に、起こり得る事態を想定した実践的な訓練を実施し、関係機関との連携や危機管理体制の強化を図ります。

④冬期間の安定輸送確保

気象情報の早期把握と迅速な除雪手配を行うとともに、軌道除雪車の運行訓練の実施、分岐器の不具合等の線路障害防止のための巡回点検を実施するなど、冬期間の安定輸送確保に努めます。

⑤落雷等の事故対策の実施

落雷等自然災害や踏切事故による運転支障を無くすため、機材の点検・予備部品の確保に努めます。

2. 高質な運行サービスの提供

(1) 南北接続に向けての既存施設の改修

2020年3月の富山駅での南北接続後の相互乗り入れするために、既存施設及び機器・システムの整備と改修を行います。また、改修に併せてインパウンドに対応するために液晶案内などの案内システムを全て多言語化に対応したものに改良いたします。

お客様や旅行者の利便性向上に努めてまいります。

【整備・改修対象となる機器、システム】

- ・ ICカードシステムの改修
- ・ 電車内の旅客案内システムの改修（液晶案内・音声案内など）
- ・ 構内旅客案内装置の改修
- ・ 運行監視装置の改修
- ・ 無線装置の改修
- ・ 富山地方鉄道（株）富山南駅指令所と
城川原指令所を結ぶ直通電話の整備
- ・ 奥田変電所連絡遮断装置の整備

3. 更なるイメージアップ

(1) ラッピング電車の運行

季節に応じたポर्टラムらしいラッピング電車を運行することにより、街の景観向上を図るとともに、利用促進に繋がります。

(2) 接遇の向上

運転士の接遇態度が当社のイメージを大きく左右することから、乗務員研修などを通じて、接遇の向上を図ります。

(3) 沿線緑化の維持・管理

沿線の景観向上のため、線路沿いに植栽したあじさい等のほか、下奥井駅前花壇や越中中島駅のフラワーポット等を沿線の皆様、企業等の協力を得て、1年を通じて維持・管理いたします。

(4) 良好な企業イメージの醸成

富山ライトレールに対する理解の浸透を図るため、新聞やテレビ、雑誌、インターネット等の媒体を活用した広報活動を積極的に展開し、皆様から親しまれる交通機関となるよう努めます。

4. 収益力の強化

(1) 業務運営の効率化

従来からの契約や委託内容を見直し、業務の適正化・合理化に取り組みます。

(2) 経費の節減

新工法や新しい技術の情報収集を積極的に行い、国等の補助制度を積極的に活用いたします。

(3) ICカードの利用促進

ICカード「パスカ」の更なる利用者の増加を図るための広報を展開するとともに、富山地方鉄道㈱のICカード「えこまいか」との相互利用を積極的に推進いたします。

(4) フィーダーバスの運行

フィーダーバスの利用率の向上のため、沿線の自治振興会等と連携して利用促進を図るとともに、適正な運営コスト・サービス水準となるよう努めます。

(5) 臨時列車の運行

年末年始や沿線の行事に合わせて臨時列車の運行や終電時間の延長をするなど、お客様のニーズに合った柔軟な運行を行うことにより利便性の向上を図ります。

(6) 貸切電車の運行

イベントなどでお洒落な移動手段や車内での結婚式などに、ポートルムを活用していただけるよう事業者等にPRいたします。

(7) 広告収入の確保

駅構内広告や液晶画面による車内広告などに空きが生じないように努め、収入の確保を図ります。

(8) グッズ収入の確保

各種イベントや祭りなどの出張販売に出向き販売の強化を図ります。

5. その他

(1) 視察者・観光客の積極的受け入れ

国、地方自治体等の行政関係者のほか議会関係者、大学等研究機関など県内外からの視察者を積極的に受け入れるほか、外国人宿泊者や県外からの旅行者のための富山市の各種優待制度を活用し、新規観光客の誘致や受け入れを積極的に推進いたします。

(2) 旅行業者との連携

旅行代理店、JR各社や富岩水上ラインなどとの連携で、周遊のための手段としてポートラムを利用してもらうなど利用促進を図ります。

(3) 乗車マナーの向上啓発

乗車マナー向上に向け、列車内における座席の譲り合いや携帯電話の使用などについてのアナウンス等の取組みや、子供向け乗車マナーカードの配布を引き続き実施し、車内環境の快適化に努めます。